



株式会社マッドハウスの第三者割当増資引受(子会社化) に関するお知らせ

日本テレビ放送網株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 細川知正、以下日本テレビ）は、株式会社マッドハウス（本社：東京都中野区、代表取締役社長 落合正美、以下マッドハウス）が第三者割当増資により発行する新株を引受け、マッドハウスを日本テレビの子会社とすることと致しましたので下記の通りお知らせします。

記

マッドハウスは、1972年に、虫プロダクションに参加していたスタッフを中心としてスタートした老舗中堅アニメ制作会社で、「メトロポリス」、「バンパイアハンターD」等の劇場作品、「カードキャプターさくら」「はじめの一歩」等のTVシリーズなど、多彩なアニメ作品を発表してきました。「獣兵衛忍風帖」、「千年女優」等は、海外において高い評価を得ており、マッドハウスの名前は海外においても広く認知されています。また、マッドハウスは、米国マーベル社の有するキャラクターを基にしたアニメ作品を制作する権利を与えられており、「アイアンマン」、「ウルバリン」等をアニメ化しています。

日本テレビは、マッドハウスの株式10.4%を所有する第2位の株主でもあり、近年では、深夜テレビアニメ枠での共同製作、また日本アカデミー賞「最優秀アニメーション作品賞」をはじめとする数々の賞を獲得し、興行的にも大ヒットした劇場アニメ「サマーウォーズ」を共同製作するなど緊密な関係にあります。

マッドハウスは、リーマンショック後の激変した経営環境への対応に苦慮していますが、日本テレビは、マッドハウスの有するアニメ制作力とブランド力を高く評価しており、マッドハウスを日本テレビグループ内に取り込むことで、映画、放送、商品化、ビデオグラム化、VOD配信等、日本テレビグループ内においてこれまで以上に広くビジネス展開ができると考え、今般、マッドハウス及びマッドハウスの親会社である株式会社インデックスと協議した結果、マッドハウスによる第三者割当増資約10億円を全額引受けました。

今般の第三者割当増資引受の結果、日本テレビ持分は、約85%となり、日本テレビの子会社となります。日本テレビよりコンテンツビジネスに精通した人材を経営陣として派遣して、マッドハウスの持つアニメ制作力と日本テレビグループの企画力、営業力を結合させ、市場ニーズにあったアニメ作品を生み出すと共に、日本テレビの有するコンテンツ管理ノウハウ等も導入し、3年後には年間営業利益3億円を目指します。

本件投資は、日本テレビの強みを活かして事業ポートフォリオの多様化を図るという、日本テレビグループの中長期戦略に沿ったものであり、中期的に日本テレビグループの企業価値向上に資するものと考えています。

以上